

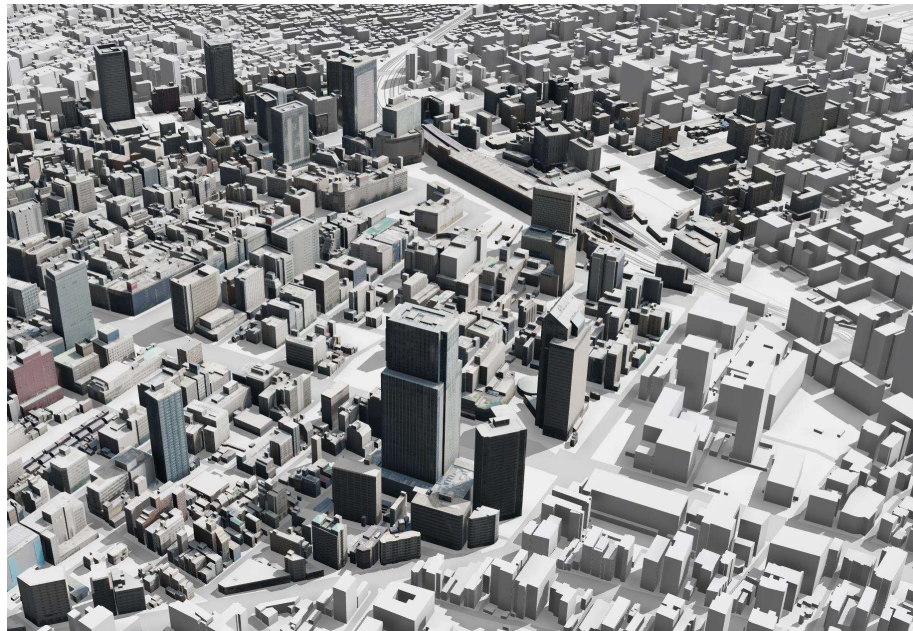
取り組み紹介

青葉通仙台駅前エリアにおける
3D都市モデル体験会

3D都市モデルとは

3D都市モデルは、航空測量等に基づき取得したデータを活用して建築物や道路等を三次元で生成したものです。

国土交通省が主導する「Project PLATEAU」では、日本全国の3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を進めています。



3D都市モデルの特徴・活用

ビジュアライズ
(視認性)

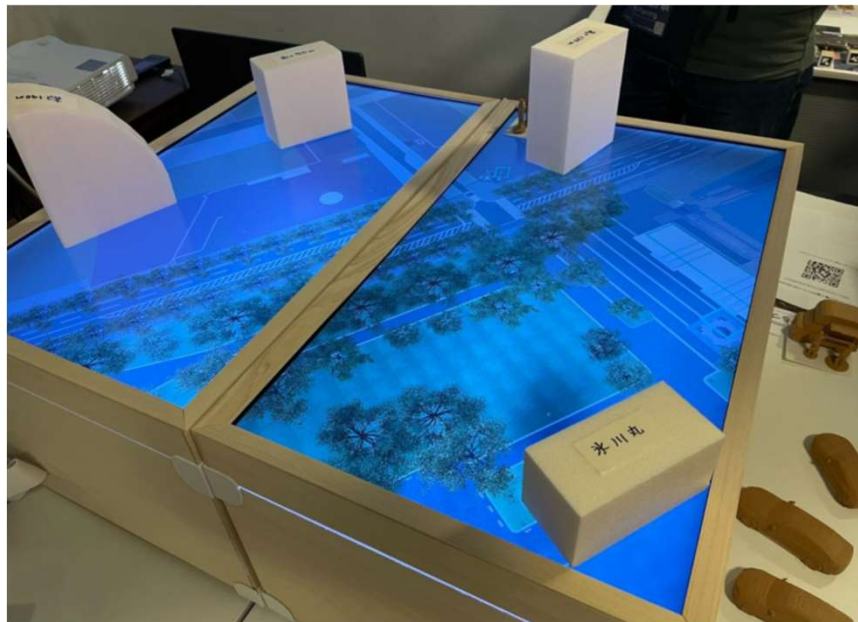
シュミレーション
(再現性)

インタラクティブ
(双方向性)

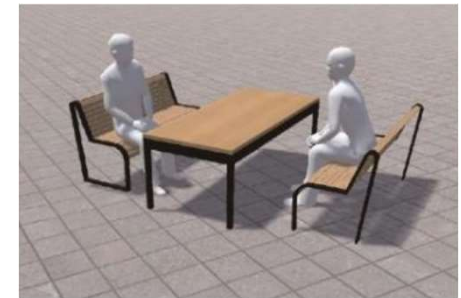
- 新しい建物を建てる前に、街並みの様子を3D都市モデルで確認
- まちの設備や休憩場所を、3D都市モデルでシミュレーションし、みんなで相談しながら将来を描く
- 歩道の安全性や通行の円滑性、賑わいや魅力づくりを、3D都市モデルを見ながら考える

活用したデジタルツール

タンジブルインターフェース 「Xdiorm」



ストリートファニチャー タンジブル駒



【出典】

※XR技術を用いた体験型アーバンプランニングツール技術検証レポート

<https://www.mlit.go.jp/plateau/file/libraries/doc/plateau tech doc 0025 ver01.pdf>

※タンジブルインターフェースを活用した住民参加型まちづくり等
技術検証レポート

<https://www.mlit.go.jp/plateau/file/libraries/doc/plateau tech doc 0079 ver01.pdf>

システム紹介動画

YouTube掲載のXdiorm紹介動画

https://youtu.be/vXjZcDlCsmg?si=V_mAgOxWVhVkyVtf

3D都市モデルを活用した体験会を開催

体験会の目的

- ◆ 3D都市モデルを活用しながら、それぞれが思い描く将来のイメージの共有
- ◆ 3D都市モデルの活用を今後の検討手法のひとつとして体験

体験会の概要

- ◆ 開催日 令和7年2月12日(水)、13日(木)
- ◆ 参加者 協議会委員の一部の方にお声がけ

青葉通仙台駅前エリアを舞台に体験会を実施



体験会の様子

様々な駒を設置





画面上に表現される

仙台ホテルを再現

